

第8回中山台地区教育環境適正化検討委員会

平成30年(2018年)7月17日(火)

午前10時00分～

中山台コミュニティセンター3階3-1、3-2

I 開会

II 委員・事務局紹介

III 本委員会における審議経過の説明

IV 報告事項

- 1 中山台地区における小学校の学校規模の適正化について <意見書>の提出について
- 2 その他

V 議事

- 1 中山台地区における小学校の学校規模の適正化について <意見書>に対する市の方針決定に係る進捗状況について
- 2 中山五月台幼稚園の廃園に伴う通園手段について
- 3 その他

IV 閉会

中山五月初幼稚園の廃園に伴う通園手段について

1 通園手段について

項目	内容
時期・期間	4歳児(2年保育)が休級する平成32年度(2020年度)から概ね5年間程度
対象者	中山台地区に居住する園児及びその保護者
通園手段を講じる区間	中山台地区と長尾幼稚園の間
費用負担	検討中(他地域とのバランス)

2 通園手段

通園手段	概要	集団登園	メリット	デメリット
専用通園バス	マイクロバスをリース契約で借上げ、運行を委託する。	○	①運行時間帯は、1台で運行可能な範囲で自由に組むことができる。 ②集団登園が可能となる。	①集合場所は、旧中山五月初幼稚園となるため、通園時間が大幅に長くなる。 ②乗り遅れると、自力で登園しなければならない。 ③一定数の利用者が必要となる。
路線バス	阪急バスを利用し、定期代を補助する。	△	①最寄りのバス停で乗車できる。 ②時間に拘束されない。(自由に乗車できる)	①集団登園が困難(バスは大人1人に対して子ども2人まで) ②中山台、中山桜台地区は運行数(1時間に1運行)が少ないため、乗り換えが必要となる。
自家用車通園	自家用車で通園し、駐車場はあいあいパークの駐車場を使用する。(1時間無料)	△	①時間に拘束されない。(ただし、集団登園の場合は、集合時間あり) ②駐車場からの集団登園が可能となる。	①運転免許証(自家用車)のない保護者は利用できない。 ②駐車場から園まで徒歩15~20分かかる。
路線バス、自家用車通園併用	阪急バスを利用する保護者は定期代の補助を受け、自家用車で通園する保護者はあいあいパークの駐車場を利用する。	△	①バス利用と自家用車通園の選択が可能 ②路線バス、自家用車通園のメリット	①路線バス、自家用車通園のデメリット